

商品名 セレナール錠5 医薬品基本情報

薬効	1124 ベンゾジアゼピン系製剤	一般名	オキサゾラム錠
英名	Serenal	剤型	錠
薬価	5.90	規格	5mg 1錠
メーカー	アルフレッサ ファーマ	毒劇区分	(向)

セレナール錠5の効能・効果

神経症における緊張、神経症における睡眠障害、神経症における不安、神経症における抑うつ、(循環器疾患、消化器疾患、自律神経失調症、内分泌系疾患、心身症)の(身体症候、緊張、不安、抑うつ)、麻酔前投薬

セレナール錠5の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、急性閉塞隅角緑内障、重症筋無力症	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 心障害、脳器質的障害、呼吸機能低下、重篤な呼吸不全、中等度呼吸不全、腎機能障害、肝機能障害、投与した薬剤が特定されないままにフルマゼニルを投与された	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

セレナール錠5の副作用等

1. 薬物依存、痙攣発作、せん妄、振戦、不眠、不安、幻覚、妄想、離脱症状	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 頭重感、頻脈、嘔吐	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
3. 眠気、ふらつき、不眠、めまい、いらいら、頭痛、舌のもつれ、口渇、悪心、食欲不振、便秘、下痢、胃部不快感、過敏症、発疹、かゆみ、蕁麻疹、倦怠感	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
4. 嗜眠状態、運動失調、呼吸不全、炭酸ガスナルコーシス、口唇裂、口蓋裂、哺乳困難、嘔吐、活動低下、筋緊張低下、過緊張、嗜眠、傾眠、呼吸抑制、無呼吸、チアノーゼ、易刺激性、神経過敏、振戦、低体温、頻脈、離脱症状、新生児仮死、黄疸増強、胎仔に対する発育抑制、体重減少、作用が変化、作用が遅延	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

セレナル錠5の相互作用

1. 薬剤名等：中枢神経抑制剤

発現事象	作用が増強
------	-------

投与条件	-
------	---

理由・原因	相加的な中枢神経抑制作用の増強
-------	-----------------

指示	希望禁止
----	------

2. 薬剤名等：アルコール

発現事象	作用が増強
------	-------

投与条件	-
------	---

理由・原因	相加的な中枢神経抑制作用の増強
-------	-----------------

指示	希望禁止
----	------

3. 薬剤名等：MAO阻害剤

発現事象	作用が増強
------	-------

投与条件	-
------	---

理由・原因	本剤の代謝が抑制
-------	----------

指示	希望禁止
----	------



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』